

山口情報芸術センター [YCAM]

未来の山口の授業 at School 2023

2023年4月～2024年2月

山口市内の小学校、中学校、山口情報芸術センター [YCAM]

「学びのプラットフォーム」としてのYCAM

YCAMから提案する「メディア・テクノロジー」×「学び」の多彩なプログラム

山口情報芸術センター [YCAM] では、YCAMが開発した教育プログラムを山口市内の小中学校で実施する「未来の山口の授業 at School 2023」を実施します。

学校教育の現場において、情報を読み解き、活用する能力の向上は重要な課題となっています。こうした状況を踏まえ、YCAMの豊富な知見を活かして、小中学校で実施可能な教育プログラムの開発をおこなうと同時に、それを次世代に向けた新たな教育モデルとして全国に発信する取り組み「未来の山口の授業」を2016年度から進めています。2021年度からは、山口市教育委員会と共同で実施する「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」の一環として、ファブラボ山口の協力のもと、山口市内の小中学校で、YCAMが開発した教育プログラムを実施するとともに、学校教員向けの研修を開催しており、2023年度は3年目の実施となります。

情報を分かりやすく発信／伝達する能力や、プログラミング的思考などの能力を育む本プロジェクトを通じて、これからの社会を担う人材の育成につなげていきます。ここから生まれる成果にご期待ください。



2021年度に実施した際の様子
(撮影：塩見浩介)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

[お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7

TEL：083-901-2222 メールアドレス：press@ycam.jp ウェブサイト：www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

YCAMが目指す持続的な学びのサイクル



教育プログラムのひとつ「音景クルーズ」 撮影：田邊アツシ

YCAMは2003年の開館以来、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現と鑑賞者をつなぐため、研究開発プロジェクトや作品制作の過程で得たテクニックや知見、開発したソフトウェア／ハードウェアなどを応用して、教育プログラムを多数開発／実施してきました。それらは単なるメディア・リテラシーの向上や知識の強化だけではなく、普段の生活に新たな視点をもたらし、物事を捉える想像力／創造力の向上にもつながるよう設計されており、キッズデザイン賞を受賞するなど外部からも高い評価を得ています。

2016年からはこうした取り組みを、新たな教育モデルとして持続的に展開し、世界へ発信できるよう、「未来の山口の授業」という枠組みで実施しています。この中では、YCAMがこれまでに開発してきた多彩な教育プログラムをYCAMで体験できる「at YCAM」、YCAMを飛び出し山口市内の小中学校で体験する「at School」、そして近年の研究をもとにした実験中のプログラムを体験できる「β（開発版）」の3つの展開で、YCAMの持続的な学びのサイクルを進めてきました。

2021年度からは、山口市教育委員会がYCAMと推進する先進教育プロジェクト「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」として、「未来の山口の授業 at School」を実施。文部科学省の「GIGAスクール構想」などの影響で急速に進む教育現場のICT化に対応した授業開発を、教員とYCAM、そして山口市の小学校でプログラミング教育の普及に貢献してきたファブラボ山口とともに取り組んでいきます。

地域の学校と協働し、新たな学びの場を提供する



小学校で教育プログラムを実施した時の様子（撮影：塩見浩介）

2023年度の「未来の山口の授業 at School」は、山口市内の4つの小中学校でのYCAMオリジナルの教育プログラムの実施と、教員向けの研修会から構成されます。

小中学校での教育プログラムの実施

今年度は山口市東部の八坂小学校、南部の小郡小学校と中心部の大殿中学校において教育プログラムを実施します。八坂小学校と小郡小学校では、生活科や社会科などの授業で実施されている地域学習を発展させ、ウェブ上で閲覧可能な地域図鑑を制作する「360°図鑑」を実施。大殿中学校では、タブレット端末を使って、空間に映像を配置して映像表現を学ぶ「うご板（いた）」を活用し、制作するデジタル壁画を文化祭のプログラムのひとつとしてします。いずれも映像技術などのメディアテクノロジーを駆使したプログラムで、教員と協力しながら、それぞれの学校の実態に合わせて、授業に組み込みながら進めていきます。

教員向けの研修会

教育プログラムの実施と並行して、山口市内の小中学校に勤務する教員を対象に研修会シリーズ「先生と考える未来の山口の授業」を開催します。この研修では、学校への配備が進む学習用タブレット端末の活用方法など、授業の情報化に関連するトピックについてのレクチャーを開催します。今年は、タブレット端末でうごきの面白さを体験するツール「フレットアニメ」を活用した研修会を実施します。（2023年度は終了）

■ 360°図鑑



撮影：塩見浩介

インターネット上に写真や動画などのメディアを盛り込んだ地域の図鑑を作成することで、他者との協働による調査方法やメディアの効果的な活用方法について学ぶワークショップです。私たちの身近な「地域」に焦点を当て、自らの足で歩き、五感で感じ取った体験や取材を基にして、オンラインで閲覧が可能な図鑑を制作します。編集作業を通じて、目的に応じて適切にメディアを活用する技術や、インターネットを通じた他者とのコラボレーションについて理解を深めることができます。

■ うご板



撮影：塩見浩介

持ち運べるディスプレイを使って、映像を空間に配置し、複数の映像を組み合わせることでさまざまな映像表現を学ぶワークショップ。映像表現には、無関係に見える映像同士をつなげたり、同時に見ることで関連性を感じさせる「モンタージュ理論」と呼ばれる手法があります。ワークショップでは、このような手法を独自開発したツールを使用し、身体を使ってブロック遊びのように体験できます。

共同開発：萩原健一、株式会社モノサス

開催概要

未来の山口の授業 at School 2023

2023年4月～2024年2月

山口市内の小学校、中学校、山口情報芸術センター [YCAM]

■ スケジュール

※発表会までに実施する授業については、原則非公開となっております。取材についてはYCAMまでお問い合わせください。

360°図鑑

小郡小学校、八坂小学校

うご板でデジタル壁画

大殿中学校

発表会（文化祭）：10月28日（土） ※終了

山口市教育研究会美術部会 in YCAM

10月6日（金） ※終了

主催：山口市、山口市教育委員会、公益財団法人山口市文化振興財団
協力：ファブラボ山口
企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

関連イベント

未来の山口の授業 at School 2023 成果展

12月2日（土）～2024年3月10日（日） 10:00～20:00

山口情報芸術センター [YCAM] コミュニティスペース 入場無料

これまで本プロジェクトで開発してきた「新しい授業」を紹介する展示です。

これまで山口市内の公立小学校で実施してきた「360°図鑑」の成果を閲覧できるコーナーや、10月に大殿中学校の文化祭で披露した「うご板」を活用したデジタル壁画の展示、また「うご板」そのものの体験コーナーなど、来場者にカリキュラムを体感してもらえるような展示物が並びます。

同時期開催イベント

あそべる図書館 — Speculative Library

10月28日（土）～2024年2月25日（日）10:00～19:00

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ、2階ギャラリー 入場無料

世界中から知識やアイデアを集め、知恵を生み出すプラットフォームとしての
展覧会です。

